

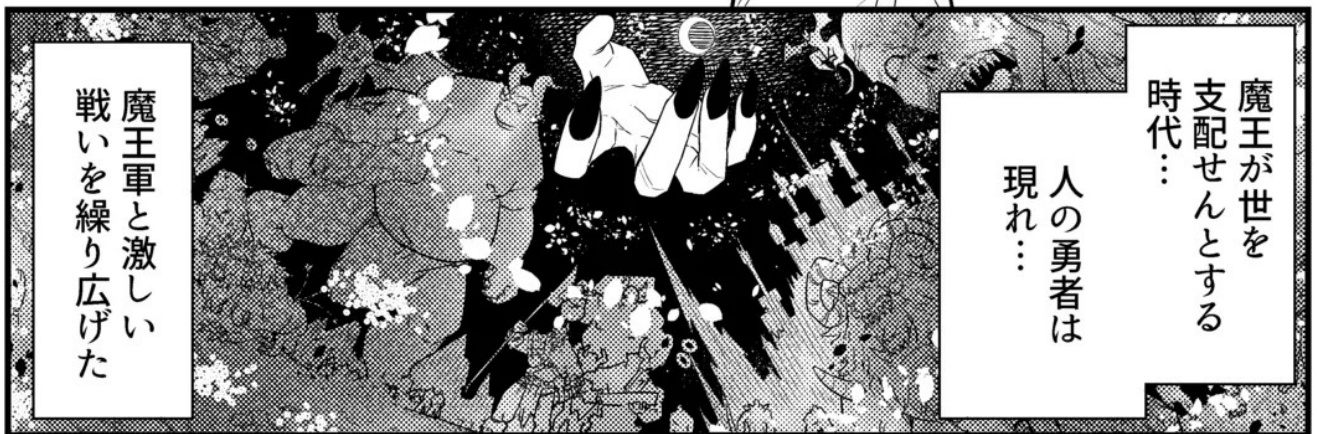


魔王

玉に溶ける



僕は勇者一行の
エルフ“僧侶”



魔王が世を
支配せんとする
時代：

人の勇者は
現れ：

魔王軍と激しい
戦いを繰り広げた



魔王様：勇者一行：
『僧侶』を捕らえて
まいりました：

僕は魔王の
手先に捕まり
魔王に
差し出された：

…ご苦労 そやつを残して
下がるが良い…!!



そんなある日：
ついに



お前が勇者一行でも
名高いエルフの「僧侶」か…

フフ…



“蘇生の御手”…と

何度勇者達を
死へ追い詰めようとも
蘇生を施す



『紅髪の魔王』…なんて
強大で禍々しい魔力なんだ
…!!

僕の勇者たちとの
旅は…ここで…



エルフは年々
数を減らしつつある…

貴様のような
幼いエルフは
久しく見るな…

さぞ大切に
育てられたろう？

幼いが気品に満ちた
顔をしておる



勇者があなたを討つ!

必ず!

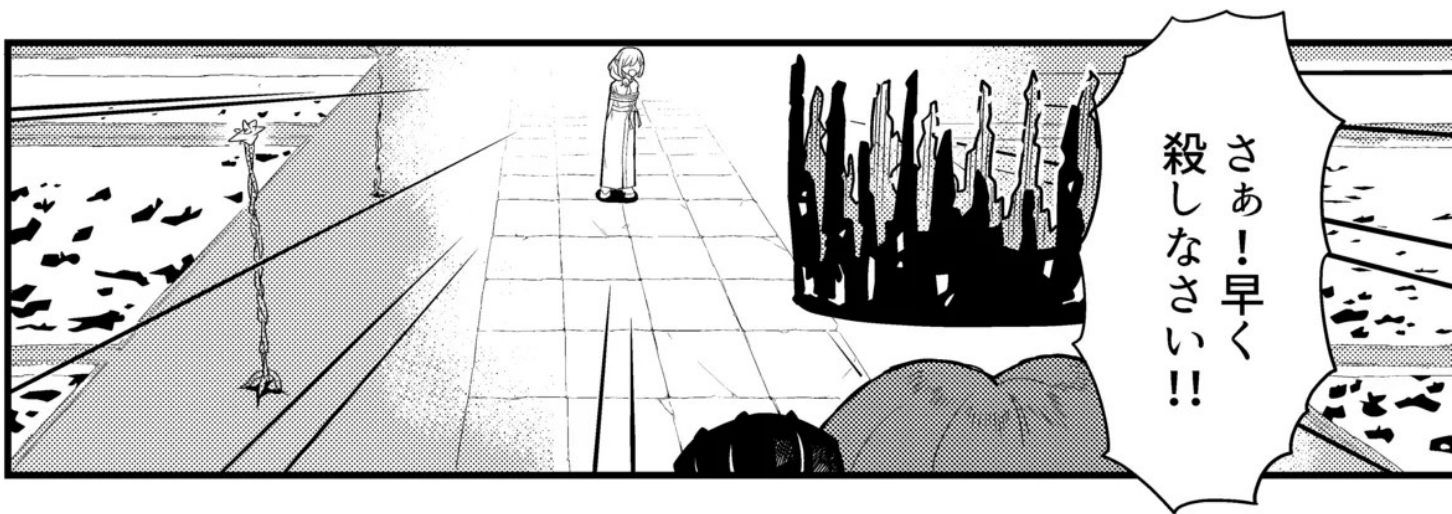
しかし!
僕を亡き者にしても



は 早く殺して
しまえばどうです
:



実に美しい
顔立ちよ:

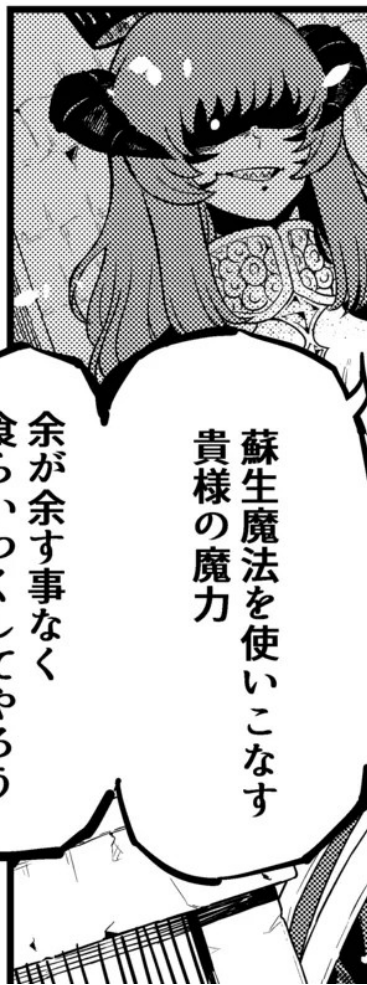


さあ! 早く
殺しなさい!!



!?

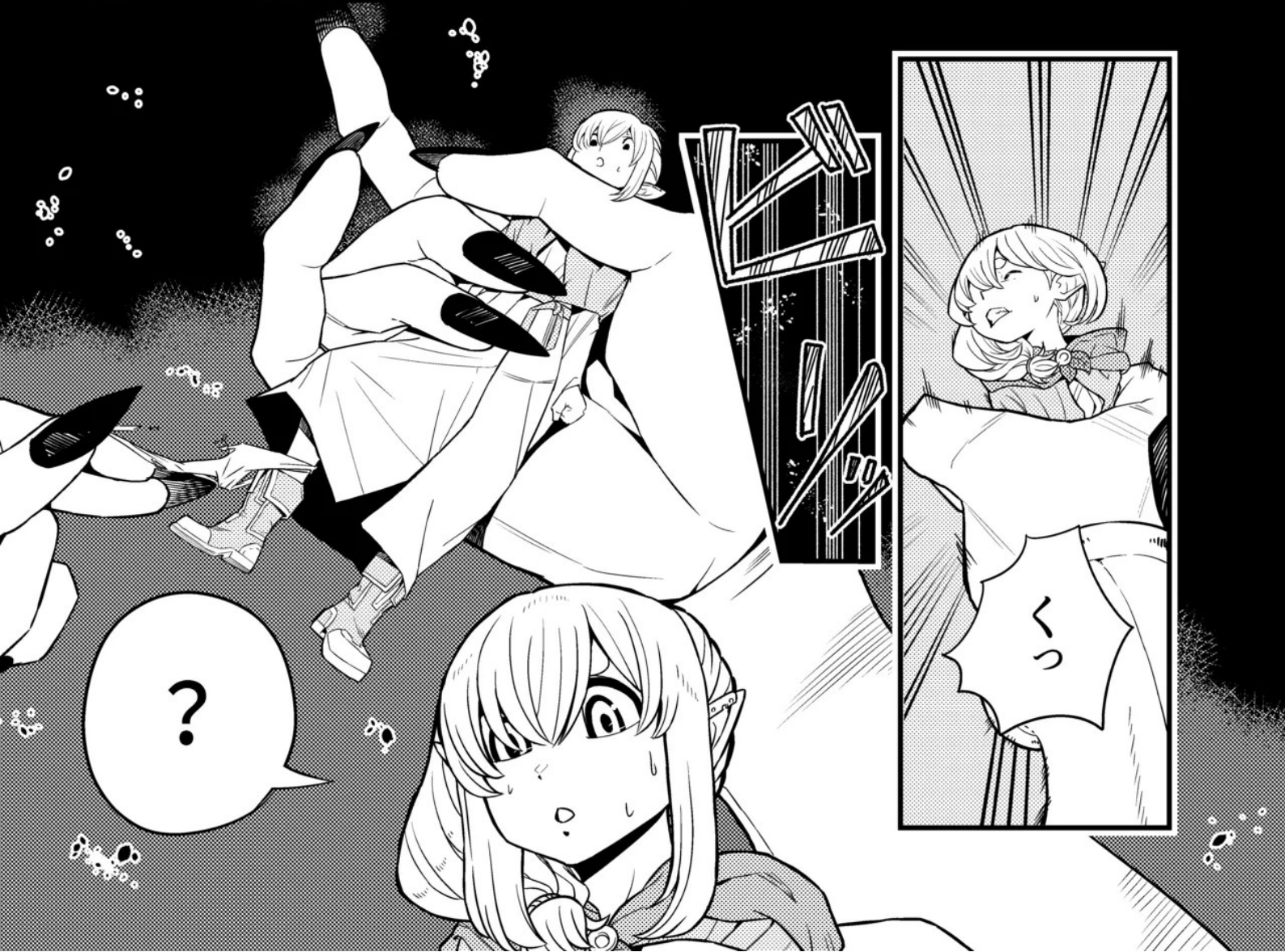
余が余す事なく
食らいつくしてやろう



蘇生魔法を使いこなす
貴様の魔力



よかろう...!!







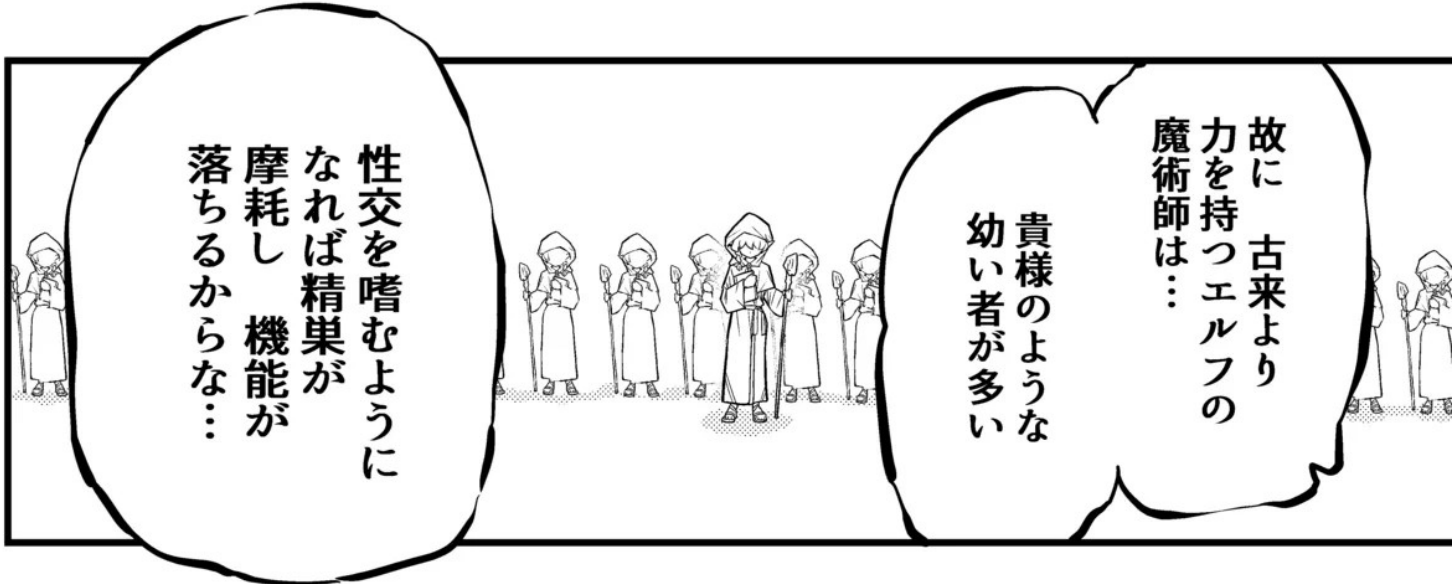
お前達 オスのエルフは
“精巢”に魔力を生み出す
機能がある

フフ…
知っているぞ
僧侶…!



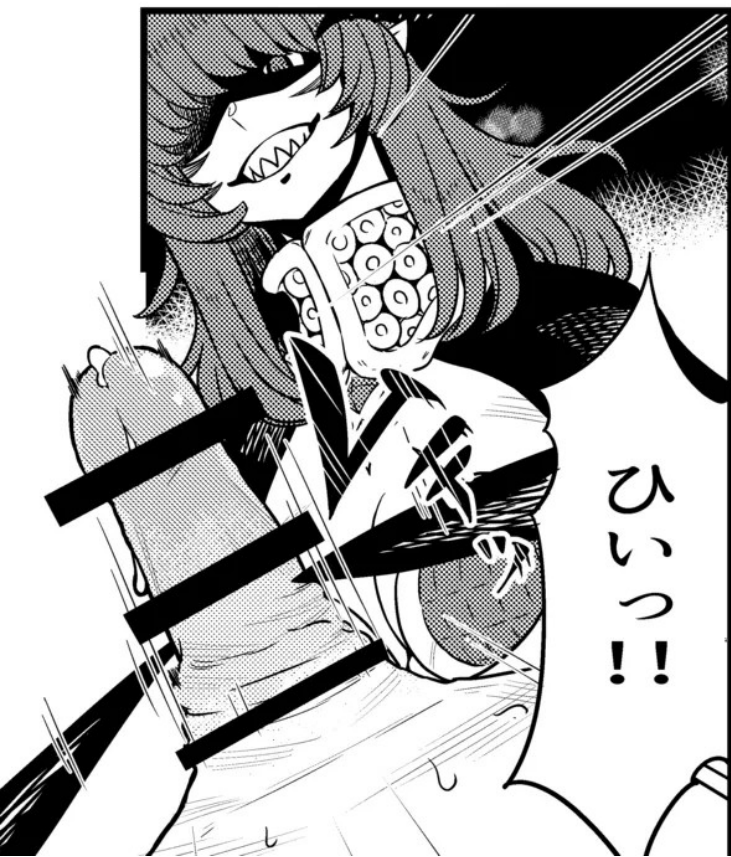
え?

え?



性交を嗜むように
なれば精巢が
摩耗し 機能が
落ちるからな…

故に 古来より
力を持つエルフの
魔術師は…
貴様のような
幼い者が多い



ひいつ!!



フフ…
どれ 皮は
剥けておるのか?

やめっ…

ひ



ま…まさか…
あなたは僕の性器から
魔力を取り出そうと…??





甘い感覚だろうか？

！



ぐっ…

ま 魔力が
無理矢理高められて
…!!

僕の外に出ようと
している…!?

まさか こんな事が…
こんな感覚が…!



見よ

この舌に刻まれし
淫紋を

より感覚を強め
過敏にし

魔力を繰り上げ
暴走させる魔力を
込めておるのだ



生きる悦びを

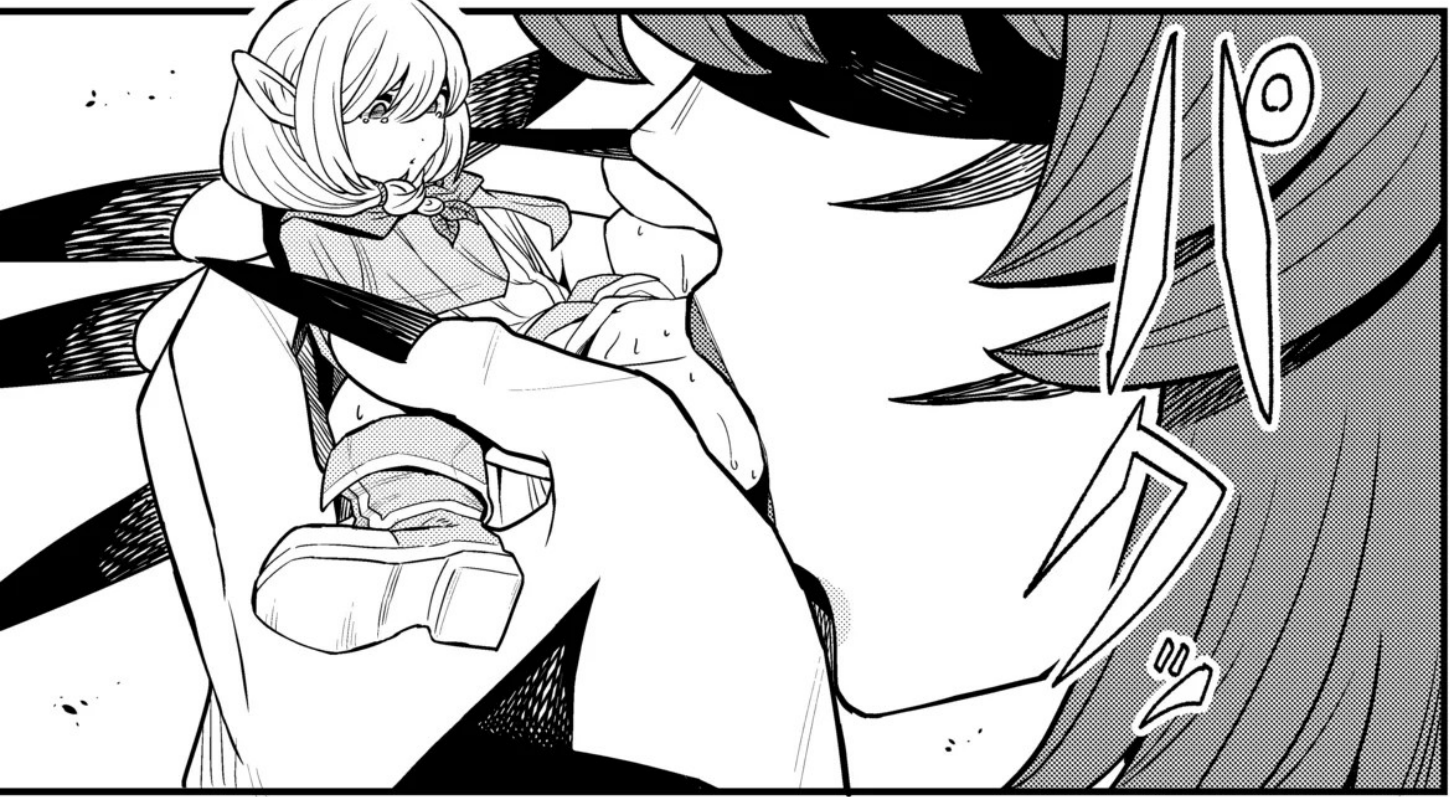


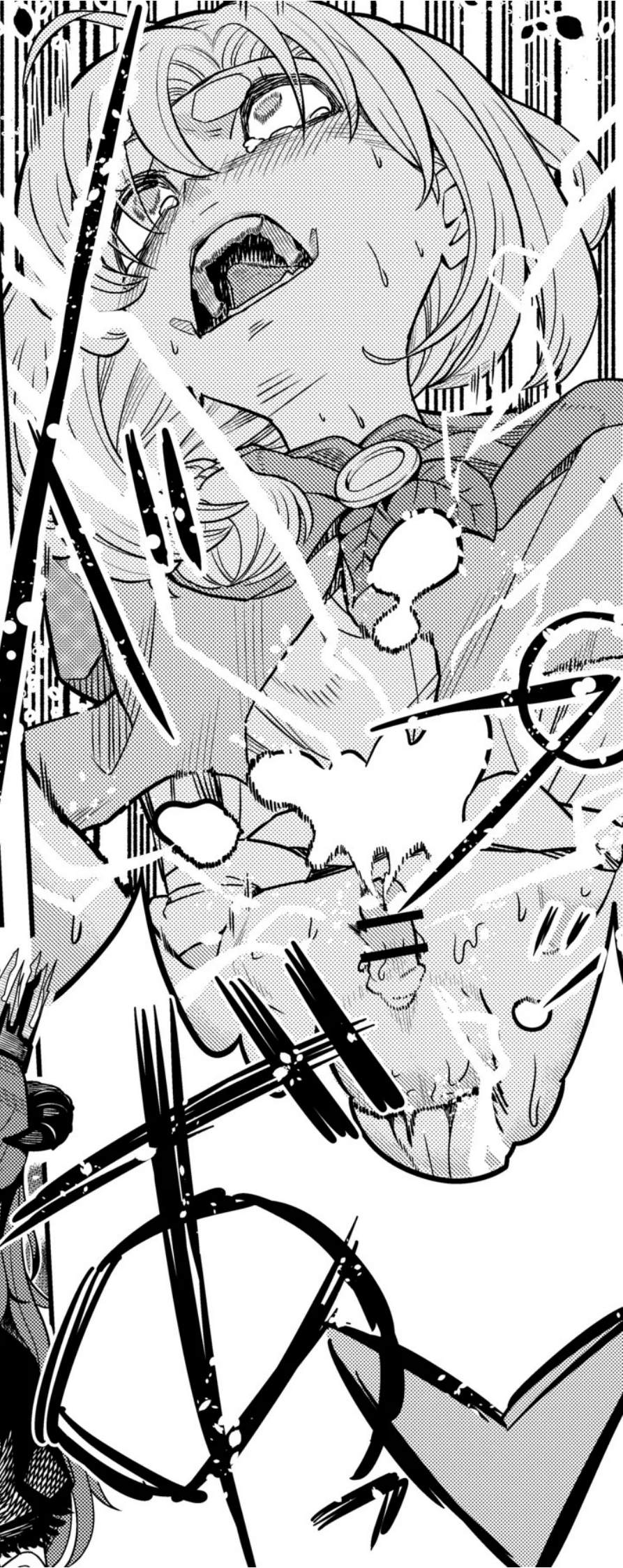
だが案ずるな
すぐに教えてやる

この世の天国を



達し方を知らぬ幼子
でなければ とうに
果てておる





実に素晴らしい魔力…
そして…味だ…

フフ…



100年目にして知る
絶頂の心地はどうだ？

ななんて
感覚だ…！！



…魔力が
感じられない



性器がまだ
脈打って…！！



か
体中がしびれる



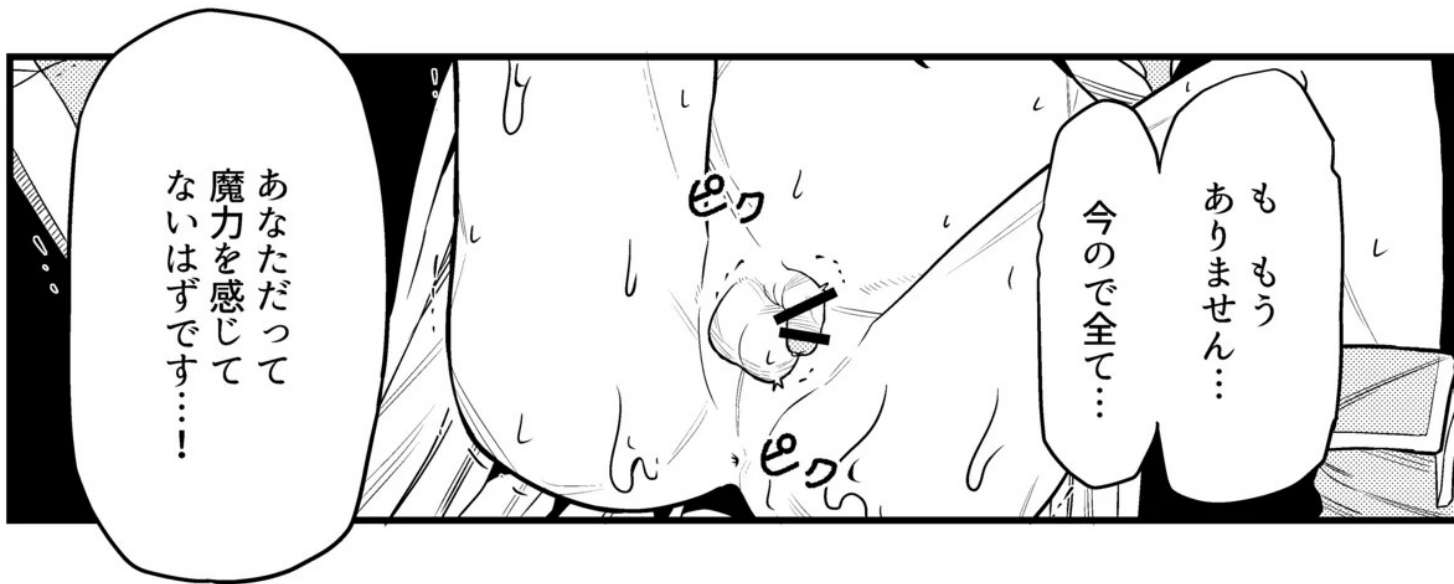
すみません 皆…！！
僕のせいで 魔王に
力が…



どうした？
驚いた顔をして

貴様はまだ
魔力を秘めて
いるだろう…？

えっ？



ももう
ありません…

今ので全て…

あなただって
魔力を感じて
ないはずです…！



貴様はこの蕩けきった
やわらかあい
牽丸の中に…

まだ芳醇な魔力を
隠しておる♡



余にはわかるぞ

ん？

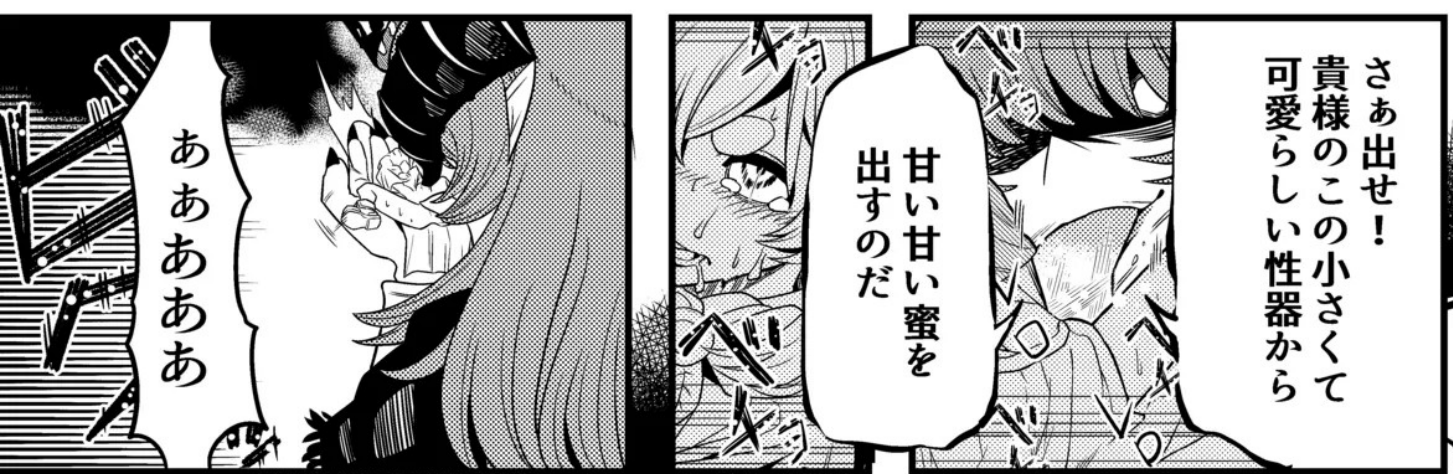
あっ



や やめて…!
やめてえええ

フフ…苦しいか?

余の淫紋によって
達した直後なら
より過敏になって
おろうな



さあ出せ!
貴様のこの小さくて
可愛い性器から

甘い甘い蜜を
出すのだ

あああああ



白く無垢な肌…
実に美しい

フフ…どこを舐めても
甘いな

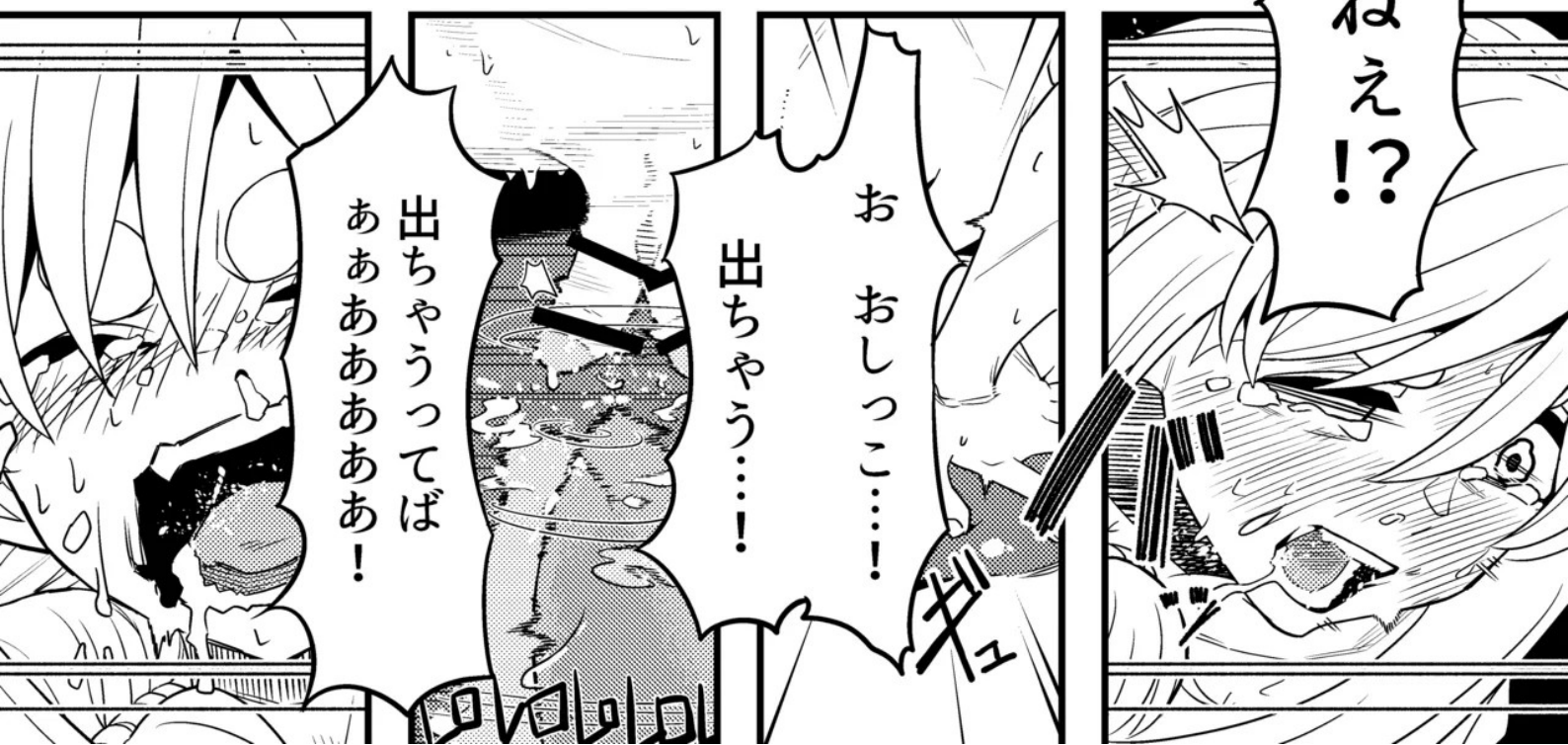
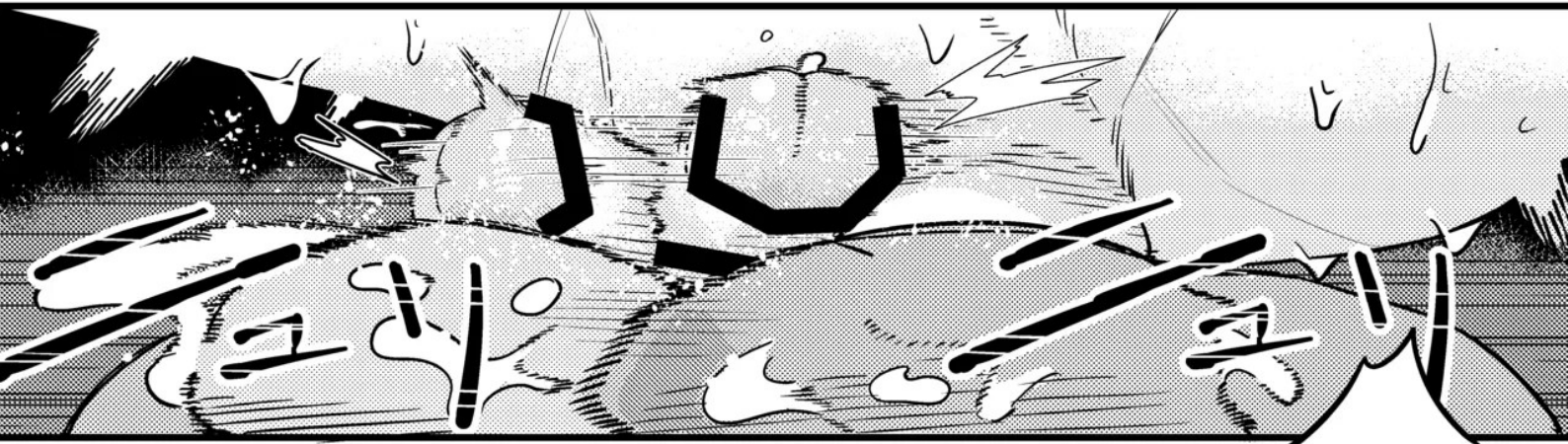




は 離してください!!

お おしつこが 出ます!!

お おしつこが...!



ねえ!?

お おしつこ...!

出ちゃう...!

出ちゃうってば
あああああああ!





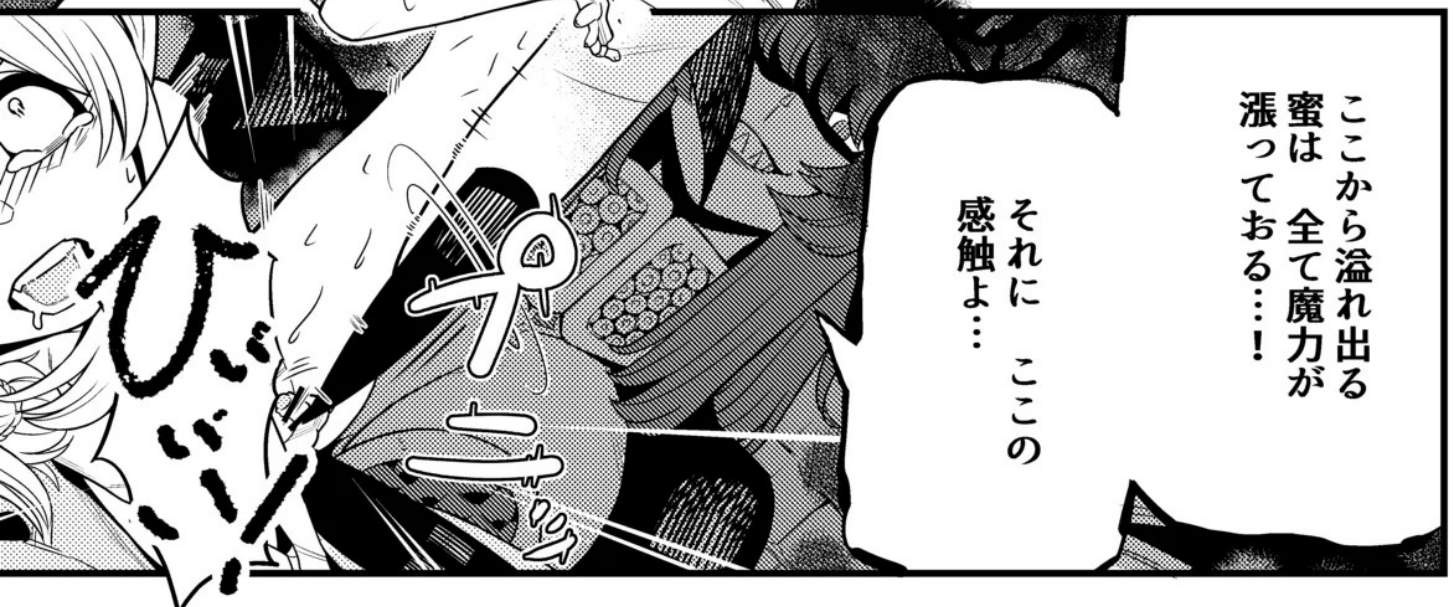
や…やめ…

おしっこ…出てる
から…!

い
今は…

今…はっ!!

フフ…貴様は
最高だな…



ここから溢れ出る
蜜は 全て魔力が
漲っておる…!!

それに このの
感触よ…



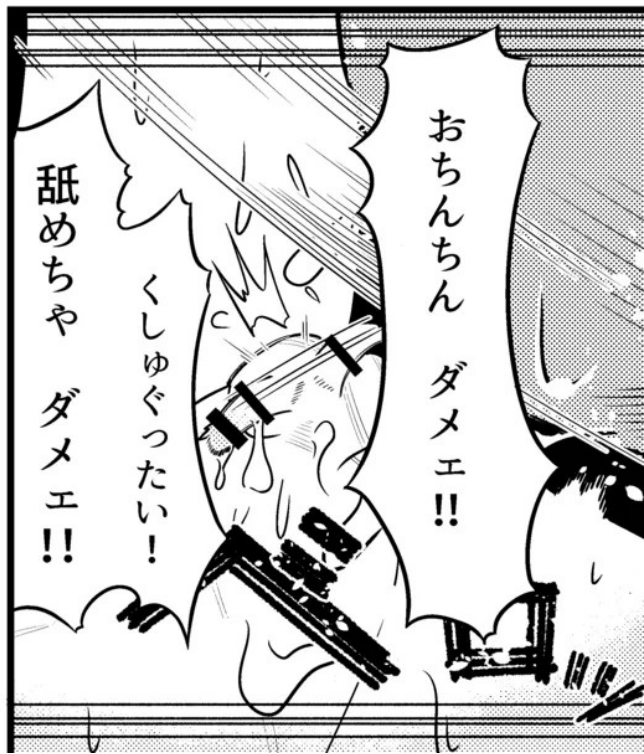
いつまでも
追いつめて
やりたくなる…!!



なんとも柔らかく
コリコリと
たまらぬ…



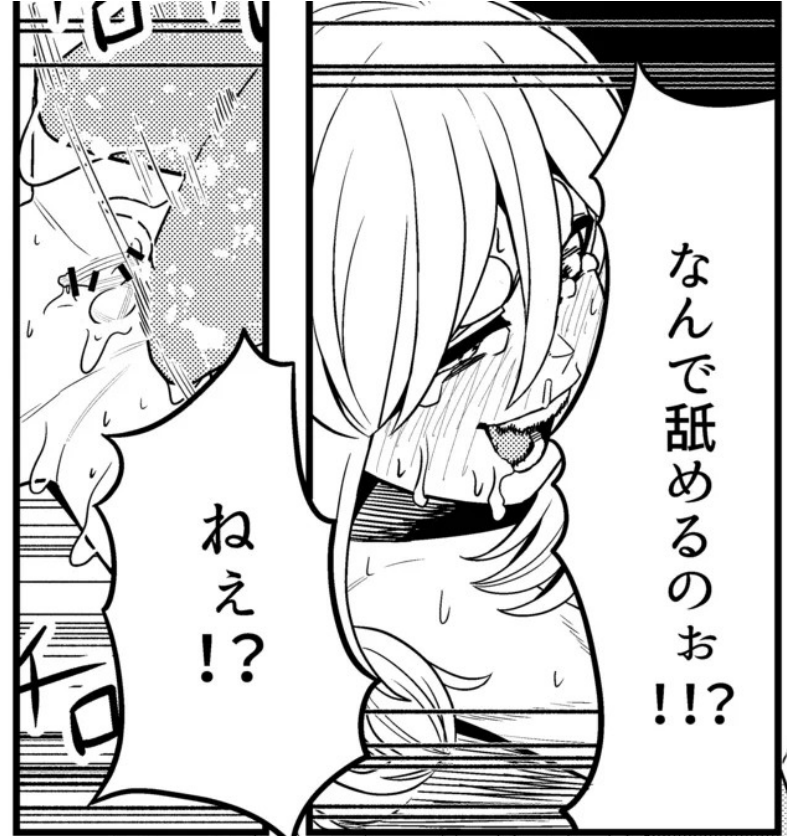
…刺激が
転じおったか♡





おちんちんっ…

ひっひひ…!



ねえ!?

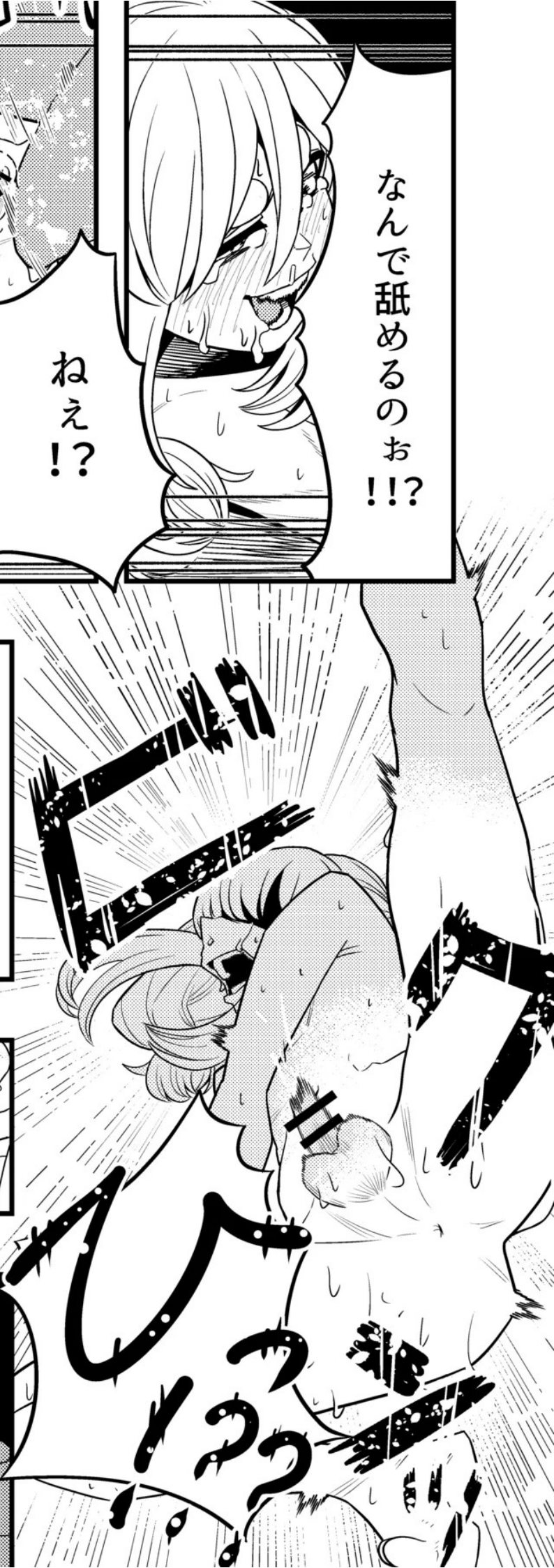
なんで舐めるのお!!?



こーら♡
達つするなら
蜜を出さぬか♡



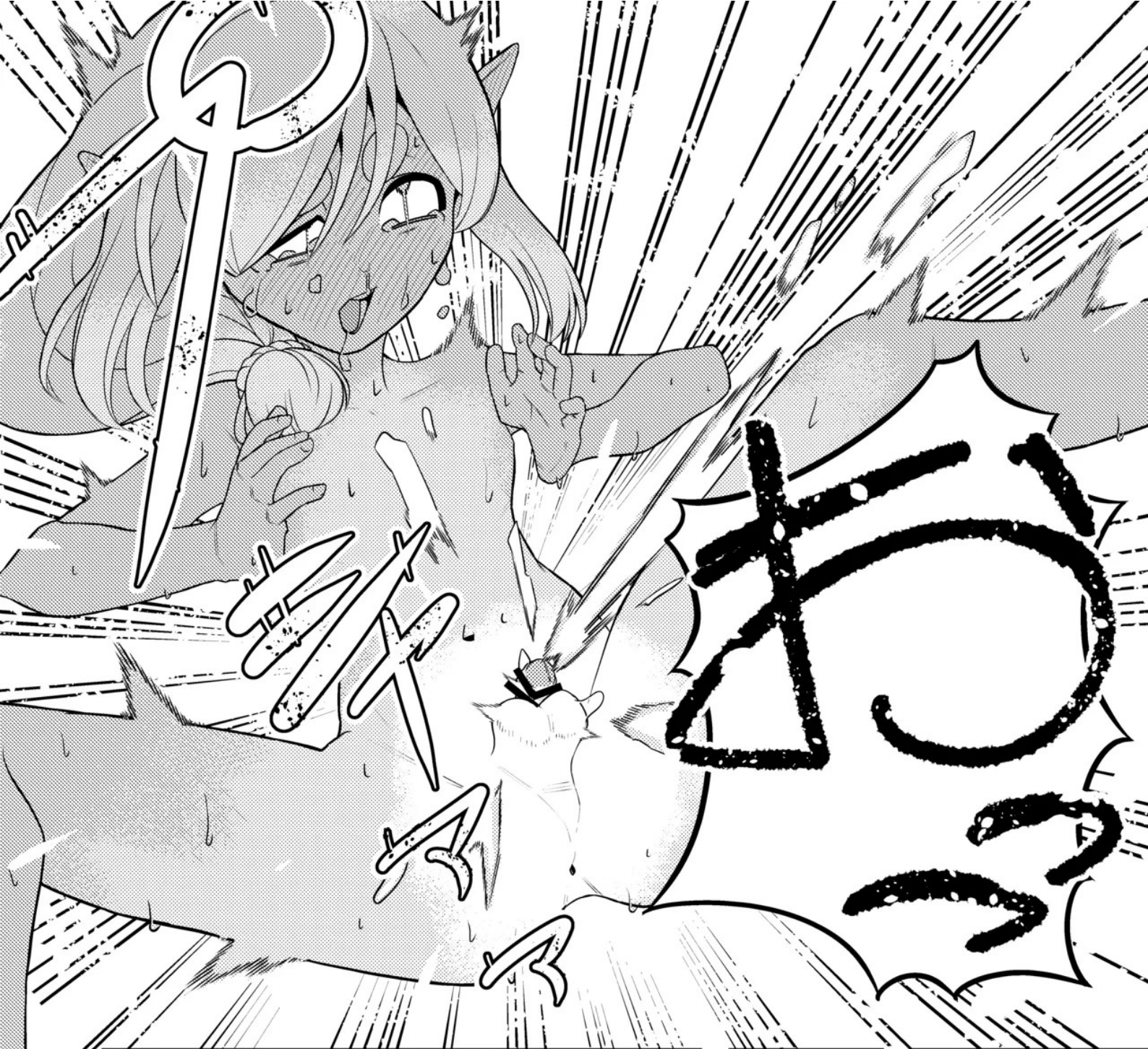
ぐっ
たあ



びっ

びっ







フフフ



『レイズ』



過呼吸と痙攣を
起こすほどの快感
だったか？

フフフ



貴様は簡単に
殺しはせぬ…！

余が直々に
飼って何度でも
蜜を出させてやる

余が望む
いかなる時でも



覚悟せよ



たつぷりと愛でて
溶かしてやる

◆今後の制作予定の癖(シチュエーション)のご紹介

・男勝りの目隠れ女の子に子分のおバカな男の子達がちよとした仕返しをするお話。

普段の仕返しにボスの女の子にカンチョウを仕掛けるも、場所がずれて彼女のもっと柔らかい場所を攻撃してしまう→強がるボスだが初めての感覚に戸惑っている…？
(登場人物:小〇生→クラスでも根暗で浮いた男の子→運動会でクラスのアイドル的な女の子を少しの間おんぶする事→能力を駆使して体操服のズボンの隙間からおしりの感触を確かめていき…やがて…?)

・生まれた時から指先の感覚が異様に鋭く、性器よりも敏感な男の子が悪魔と取引し触っている女の子から認識を阻害する能力を駆使してあらゆる感触を確かめる話。
(登場人物:小〇生→クラスでも根暗で浮いた男の子→運動会でクラスのアイドル的な女の子を少しの間おんぶする事→能力を駆使して体操服のズボンの隙間からおしりの感触を確かめていき…やがて…?)

・他にも触手、母乳、巨乳、痴漢、男の子受け…、etc。

■色々な企画を用意していますが、恐らくすべてに共通するのは性別問わず「羞恥」、「連続絶頂」、「強制絶頂」のどれか、あるいは複数になると思います。

タイトル 魔王の舌に溶ける
発行日 2026/1/26
著者 癖人(Hekito)
発行 癖のサークル

X x.com/Hekito227704
pixiv <https://www.pixiv.net/users/123311241>

・始めまして 癖人(Hekito)と申します。
作品のご購入本当にありがとうございます。

当サークルでは様々な癖の詰まった同人を制作を考えてます。

今回のエルフ×ショタ×連続絶頂×人体縮小×逆レ×放尿×くすぐりはいかがでしたでしょうか？

今後もギュッと詰まった同人を販売していきたいと思っておりますので、各DL同人配信サイトにてサークルフォロー等、どうかよろしくお祈いします。

・無断転載などでご覧になっていた方へ

もしご覧いただいた作品の癖が刺さった方、今後も作者のいろんなシチュエーションの作品が見てみたい、と思っていただけましたら、

作品は基本ワンコイン価格とお手に取りやすい価格に設定させていただいておりますので、

どうか正規配信サイトでの購入とサークルフォローをお願いします。

今後、同人活動で生計を立てて今の仕事からこちらに比重を置いて、たくさん制作したいと思っておりますので、

何卒よろしくお祈いします。

●この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
●この作品は個人が非公認で発行したものです。そのため、公認設定に準拠していません。
●18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、リミックス、転売、使用を禁止します。
●This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
●This work is an unofficial publication by a private individual. It does not represent any official point of view.
●ADULTS ONLY 18+ DO NOT REPOST / EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.

ADULTS ONLY
R18+
18歳未満閲覧禁止
転載禁止・転売禁止
DO NOT REPOST / RESELL
本書の複製・書き・Web上へのアップロード禁止
警告:この本には暴力的なシーンが含まれています。
WARNING:This book contains violent scenes.